



## 豊かな心と協働による 成熟した市民社会をめざして

市民の皆様のご参加とご協力を得て、第3次岩倉市総合計画を策定することができました。この計画は21世紀初頭における、市民・行政双方の岩倉市のまちづくりの指針となるものです。

この計画策定にあたり、行政の文化化研究会、市民意向調査、市民ワークショップ・市民フォーラム、小中学生意見(作文)募集、団体懇談会などにご協力・ご参加をいただきました皆様には、多くの貴重なご意見、ご提案をいただき誠にありがとうございました。わけても、市民自らがまちづくりに主体的に取り組む上での指針となる「市民地域づくりプラン」を取りまとめていただきました市民ワークショップ運営委員会の皆様に、また、精力的にご審議をいただいた総合計画審議会の皆様に、心から感謝申し上げます。

わたしたちのまち岩倉は、交通利便性の高い住宅都市として発展してきました。10.49km<sup>2</sup>のコンパクトな市域には都市と田園が共存し、小さくともキラリと光る地域資源が点在しています。また、身近な自然に恵まれた環境調和型のまち、市民活動や市民参加が活発なまちとして市民主体のまちづくり活動が進んでいます。

21世紀を迎え変化し続ける社会のなかで、私たちは地球環境問題や高度情報化、少子・高齢化、地方分権化など時代の潮流に的確に対応していかなければなりません。また、市民の皆様による、福祉や防災、自然環境の保全、スポーツ・文化などまちづくりに関わる活動と連携を図ることが、今後ますます重要になっていくことと思われまふ。

第3次岩倉市総合計画では、新たに「豊かな心と協働による成熟した市民社会をめざす」を21世紀初頭におけるまちづくりの基本理念としました。また、行政施策の計画とともに「パートナーシップ型施策」を市民と行政が協力しあってともに取り組むべき施策として基本計画に位置付けました。そして、1975年(昭和50年)の基本構想策定以来継承・発展させてきた将来都市像「健康で明るい緑の文化都市」の実現をめざします。

市政を取り巻く状況には厳しいものがあり、計画の実行にあたっては様々な困難を伴うことが予想されます。行政組織の改革と体質強化を進め、市民・事業者の皆様と協働して、安全・安心なまちづくりを進めていかなければなりません。

21世紀の幕開けの年、市制30周年の節目の年である本年、この計画はスタートします。

先人が築きあげてこられた岩倉の魅力を大切にしながら、今の子どもたちが大人になったときに住んで良かったと思える心豊かな岩倉のまちをつくるために、着実に計画を実行していきます。

市民の皆様には、今後ともより一層の市政へのご理解・ご協力・ご参画をお願い申し上げます。

2001年(平成13年)3月

岩倉市長 石黒靖明